



注意

6月後半より高温多照が続いていることから、コシヒカリの草丈が急激に伸長しています。それに伴い稲体活力が消耗し、**大きく葉色低下しているほ場が見受けられます。**

ほ場ごとに生育診断＝**草丈と葉色を確認**し、登熟期間の栄養が不足しないよう**しっかり穂肥施用（適期・適量）**しましょう!!（稲作情報№9 参照）

1. コシヒカリの生育状況（7月10日現在）

今時期が
コシヒカリ
生育診断の
適期です!!



地 区	田植日	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(葉)	葉 色
寺 泊	5/ 6	82.9	442	11.8	34.6
和 島	5/ 8	71.1	444	10.9	34.9
出雲崎	5/ 5	82.8	407	12.0	35.2
与 板	5/11	73.3	380	10.7	31.6
三 島	5/ 5	72.5	412	11.5	34.4
越 路	5/14	70.0	391	11.4	33.6
平 均	5/ 9	74.9	414	11.4	34.1
7/10 指標値	5/10	66.0	450	11.0	36.0

草丈が急激に伸長!!

葉色が急激に低下!!

指標値比（差） 草丈：113%、茎数：92%、葉数：+0.4、葉色：-1.9

- ① **【生育】** コシヒカリの出穂盛期は 8 月 2 日頃（平年より2日以上早い）となる見込みで 1 回目（出穂 18 日前）の穂肥時期は、7 月 15～18 日頃となりそうです。
- ② **【穂肥】** 生育診断の結果、草丈が 75cm を超えている場合、1 回目穂肥の施用は遅め・控えめ（出穂 15 日前に基準量の半分程度）とします。**2 回目穂肥（出穂 10 日前）は、基準量（N 成分：1～1.5kg）をしっかりと確実に施肥します!!**
- ③ **【病虫害対策】** 管内で「葉いもち」の発生を確認しています。
発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施してください。（裏面参照）
- ④ **【水管理】** 幼穂形成期を迎えたため、飽水管理を徹底しましょう！
今後も高温が続くと予想されるため、溜め水による根腐れを回避します。

水稻の「生育診断」はJAにお任せください!!

皆さまからのご要望で現地ほ場に出向き、水稻の幼穂長や草丈・茎数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理を個別に指導します。ぜひ、ご活用下さい!!

「生育診断チーム」設置・活動期間：7月上旬～7月下旬まで

～ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください!! ～

J A えちご中越 さんとう営農センター 農政企画課 ☎0258（41）2887	さんとう北営農センター	☎0258（74）3434
	さんとう営農センター 営農課	☎0258（42）4133
	こしじ営農センター	☎0258（92）5606

裏面もご覧ください!!

2. 穂肥施用⇒ほ場ごとの生育に合わせた穂肥を実施しましょう!!

幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥時期・施肥量の目安（7月10日現在）

品種名	幼穂形成期	出穂期	10a窒素成分 (2回の合計)	施用時期の目安 * ()は出穂前日数	
				1回目	2回目
ゆきみらい	6月24日	7月17日	5～6 kg	6/24 (23)	7/ 4 (13)
五百万石	6月26日	7月19日	1～2 kg	6/29 (20)	7/ 7 (12)
わたぼうし	6月27日	7月20日	2～3 kg	6/28～30 (22～20)	7/ 8～10 (12～10)
ゆきん子舞	6月29日	7月22日	5～6 kg	6/27～29 (25～23)	7/ 8 (14)
こしいぶき	6月29日	7月22日	2～3 kg	6/29 (23)	7/ 8 (14)
ゆきの精	6月29日	7月22日	2～3 kg	6/27～7/2 (25～20)	7/ 8～12 (14～10)
たかね錦	6月30日	7月23日	1～2 kg	7/ 3～ 5 (20～18)	7/ 9～13 (14～10)
こがねもち	7月 5日	7月28日	1～3 kg	7/10～13 (18～15)	7/18 (10)
コシヒカリ	7月10日	8月 2日	1～3 kg	7/15～18 (18～15)	7/23 (10)
にじのきらめき	7月10日	8月 2日	2～5 kg	7/ 3～ 8 (30～25)	7/19 (14)
越 淡 麗	7月16日	8月 8日	2 kg	7/21 (18)	7/29 (10)
新 之 助	7月17日	8月 9日	2 kg	7/19～22 (21～18)	7/28～30 (12～10)

生育診断に基づく適期・適量穂肥で品質・収量   を目指しましょう！

3. 病害虫対策 ⇒ ほ場をこまめに巡回して「発生状況」を確認してください!!



注意

① 【いもち病】 6/10 梅雨入り以降、当地域の一部で「葉いもち」の発生が確認されております。

② 【紋枯病】 今後の気象条件により、発生しやすい品種や前年に多発生したほ場では、病状・被害が進展しやすくなります。

 **発病を確認したら、直ちに薬剤防除を実施しましょう！**

いもち病



対象病害	薬剤名	使用量・希釈倍数	摘 要
いもち病	カスミン液剤	1,000 倍	※穂揃い期まで
	ゴウケツ1キロ粒剤【*】	1 kg/10a	※出穂5日前まで
	ブラシンフロアブル・粉剤【*】	1,000 倍 (707ﾌﾟﾙ) 3～4kg/10a (粉剤)	※収穫7日前まで ごま葉枯病 等
紋枯病	バリダシン液剤・粉剤	1,000 倍 (液剤) 3～4kg/10a (粉剤)	※収穫14日前まで
	リンバー粒剤【*】	3～4kg/10a	※収穫30日前まで

【*】のついている薬剤は、特別栽培米に使用できません!! ご注意ください。



注意

県内でカメムシが急増しています!!

「一斉草刈りウィーク 7月5日～7月12日」

斑点米カメムシ被害撲滅運動 実施中!

カメムシ“密”
解消じゃ!



4. 今後の水管理

登熟促進～品質向上には「**水管理**」が重要です!!

幼穂形成期から出穂期は、水稻が最も水分を必要とする時期となります。コンバイン収穫に支障のない地耐力を確保しながら、**飽水管理の徹底**に努めましょう!!